

令和6年度 仙台市宮城野障害者福祉センター防災訓練を実施しました。

令和7年2月26日
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和7年2月26日（水）、防災訓練として、火災を想定した避難訓練を実施しました。

当日は、午前10時30分にセンター2階厨房の揚げ物の鍋から出火し、火災が発生したことを想定し、宮城野消防署、防災業者立ち合いの下、利用者、職員を併せて41名が避難訓練に参加しました。

訓練では、利用者のみさんの火災発生のアナウンスに対する反応が速やかで、防災訓練参加への認識の高さがうかがえました。また、職員は他業務や休みの関係で通常よりも少ない人数でしたが、役割分担をした上で、落ち着いて利用者の避難を誘導する姿が見受けられました。今回、貸館利用者の方にも参加いただきましたが、階段を下りるのに時間を要する方もおりましたので、実際に火災が起こった際は車いすでの介助も検討する必要があると感じました。

避難訓練後には、水消火器訓練も実施しましたが、職員だけでなく利用者様にも体験していただき、利用者の方からも「消火器の使用方法を確認することが出来た。」との感想もありました。最後に、事務室内での火災通報電話機を用いた通報訓練を行いました。実際の通報を行うことは貴重な機会であり、センター職員が誰であっても非常時に適切な通報が出来るようにしておくことが大切だと感じました。

今後も場面や時間帯などを検討し、より実践的な訓練を定期的実施していきたいと考えています。

